

指定管理施設調査検討特別委員会視察研修報告書

視察先 新潟県上越市

実施日 令和元年11月19日（火）～20日（水）

旅 費 778,050 円（公費）

出席者 議員（同特別委員会委員）9名＋事務局1名 計10名

視察目的

第三セクター改革について

- ・上越市の第三セクター等の状況について
- ・第三セクター等に対する関与方針について
- ・持ち株会社の設立による7社の経営統合と経営者の全国公募について

視察内容

上越市では、市役所で上越市議会の杉田勝典副議長から歓迎の御挨拶を受け、産業観光交流部、施設経営管理室、中小企業診断士の、竹下智之、副室長から経営の健全化が喫緊の課題であること、財政面での健全化や組織面での健全化など、第3セクターを残して行くために、設立目的である公共事業の必要性についての説明を受けた。

また、経営管理係の高島俊介主事からは、改革の3本柱としている①第3セクターの役割の見直し、②第3セクターに対する負担の適正化、③第3セクターの経営の自主・自立化等について説明を受けた。

次に、小関政明主任からは、対象法人7社から、一つの持ち株会社「Jホールディングス」を設立したこと等の説明を受けた。

市では、平成21年4月に弁護士、公認会計士、大学教授からなる「上越市第3セクター経営検討委員会」を設置し、その後の第3セクターの方向性の検討を開始した。また、25年1月には、持ち株会社の代表取締役を全国公募した。

選定理由として、「経営手腕を持つ人材、経営ノウハウとリーダーシップの基グループ全体の経営改革を図るとともに、事業子会社に対して必要な経営指導を行うこと」を目的に幅広い人材を求めた。そして、23人の応募者の中から、上越市出身で故郷の発展に寄与したいとの強い思いがあり、第3セクターの経営改善と更なる発展に強い意欲と熱意を有している人物を選定して、25年9月に、「Jホールディングス株」を設立した。

Jホールディングス株は、①集客機能の拡大、②経費の削減、③運営ノウハウの交流・導入を掲げ、グループ全体で、上越市の魅力を高める観光資源となることを目指している。目標を、設立時では、「ありたい姿」の明確化、設立から3年半後には「会社黒字（自立）の目途をつける」、4年目からは「全体黒字の実現」を掲げて現在も取り組んでいる状況である。

取組みの効果としては、経営管理について設立前は、市担当職員の業務であり、会社経営や企業会計、営業活動などは行政職員の不得手な部分であった。これが、会社設立後は担当職員の業務を離れ、経営のプロ、再建のプロに任せることが出来たことは、市行政にとっても大きな効果があったとしている。そして、市民のことを第1儀に考えて、民営化できると

ころは民営化して残していくこと、できない所は統廃合するという英断が今後には必要になってくるのではといわれていた。

夜は、上越市内の第3セクターの「ホテル米本陣」に宿泊した。市街地からはかなり離れた場所で、山の中腹にあり、周りには何もなかったが、温浴施設にも、宿泊施設にも、お客さんが居られた。

翌日には、業務委託の日本酒製造・販売の株式会社「よしかわ杜氏の郷」を視察した。当施設では、布施良之執行役員部長から、よしかわ杜氏は、昔から日本3大杜氏と呼ばれている南部杜氏、丹波杜氏、越後杜氏の一つで、地元の吉川高校には醸造課が設置されているということであった。また、昔から、酒造りの「技、水、米」がそろっているところだったという説明を受けた。

次に、指定管理の日帰り温浴施設の株式会社「ゆったり郷」を視察した。当施設では、「仕事は楽しく、人生は愉快地に」がモットーの、中村幸一取締役会長から、温浴施設だけでの黒字化は難しいこと、レストラン経営を併用しての黒字化を図っていること等の説明を受けた。温浴施設では、酵素風呂の設置、レストランでは、2000円のプレミアムラーメンのメニュー化、300円ラーメンのメニュー化をして、メニューの差別化を図っていること等を説明された。

視察効果及び西予市での応用

西予市でも、全国公募で指定管理施設が、ありがとうサービス㈱が引き受けてもらい、存続が決定した施設もあるが、更に精査を進めて今後どうあるべきかの方向性を探っていきたいと思う。

令和元年 11 月 29 日

指定管理施設調査検討特別委員会
委員長 山本 英明

【新潟県上越市】

1. 上越市役所



2. よしかわ杜氏の郷



3. 長峰温泉ゆったりの郷

